

Always on Analytics

-変化する環境下での持続的な進化の追求-





Always on Analytics

“Always on Analytics”は、変化する環境に対応しながら進化を続け、データの利活用効果を最大化できるアプローチです

Vision

- “Always on Analytics”は、Deloitte独自のSAPアナリティクス方法論であり、アドバイザリー、導入、運用まで全領域を網羅しています
- Deloitteならではの強みである、グローバルなプロフェッショナルネットワーク、数十年にわたるSAP導入の実績、そしてデータ利活用とビジネス変革の融合における深い業界知識を活かしたアプローチです
- “Always on Analytics”は、データ利活用のあらゆる段階でお客様にインサイトと価値を提供する、画期的なソリューションです

Approach

“Always on Analytics”は以下の3つの要素で構成されています。お客様のニーズやデータ利活用の進捗状況に応じて、個別に提供することも、すべてを統合して提供することも可能です

1



Analytics First

アナリティクスを中心とした組織のビジョンを描き、SAP S/4HANA導入前に必要な要素を整え、改革効果の刈り取りを行います

2



Analytics Foundation

SAP S/4HANAおよびその他の重要な業務システムを支えるデータアナリティクス環境を構築します

3



Analytics Evolution

組織が戦略的な意思決定を行うための高度な分析、AI主導の分析基盤を提供しデータ利活用によるイノベーションを実現します

1 Analytics First

データ利活用を推進するための組織づくりのビジョンを提示するとともに、既存データや資産を最大限活用し、改革効果の早期刈取りとデータ主導型組織を実現します

Overview

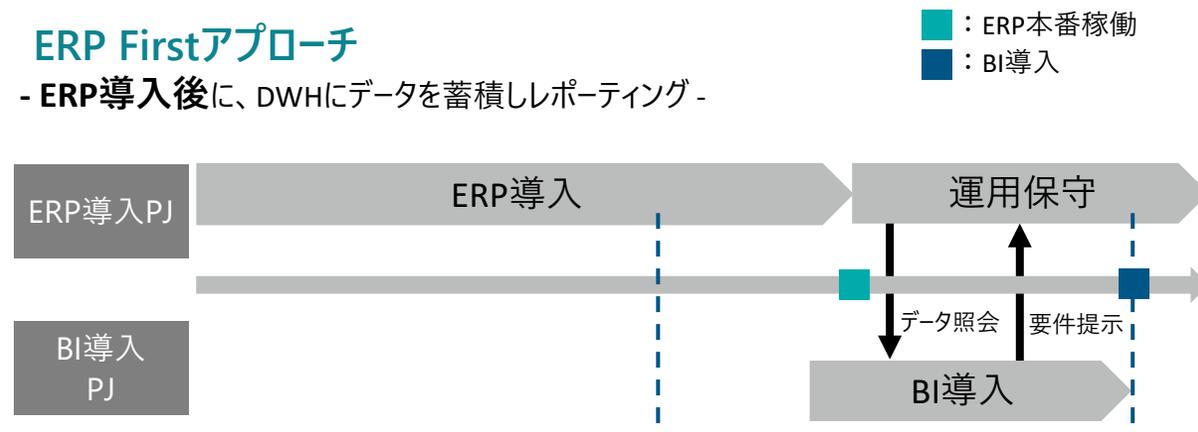
- ✓ ステークホルダーとデータ利活用の目的/目指す姿に対する合意形成
- ✓ SAP S/4HANAの導入に先行/並行して、データ利活用におけるビジョンを策定
- ✓ データ利活用を業務プロセスに組み込むための戦略とロードマップを作成し、Insight Drivenな組織構築を支援
- ✓ 概念実証（PoC）やフェーズ0等のパイロットプロジェクトを実施し、データ利活用の目的を明確化するとともに改革効果の刈取りを追求
- ✓ 優先事項、コスト、リソース、スケジュール等の具体的な計画を策定

Benefits

- ✓ 全社的な業務の効率化、コスト削減、成長を達成する道標を定義できる
- ✓ SAP S/4HANAの本格導入前にInsightの観点で課題や問題点を特定できる
- ✓ Insight Driven組織を実現するための戦略とロードマップを明確化できる
- ✓ パイロットプロジェクトの教訓を活かし、目指す姿をブラッシュアップできる

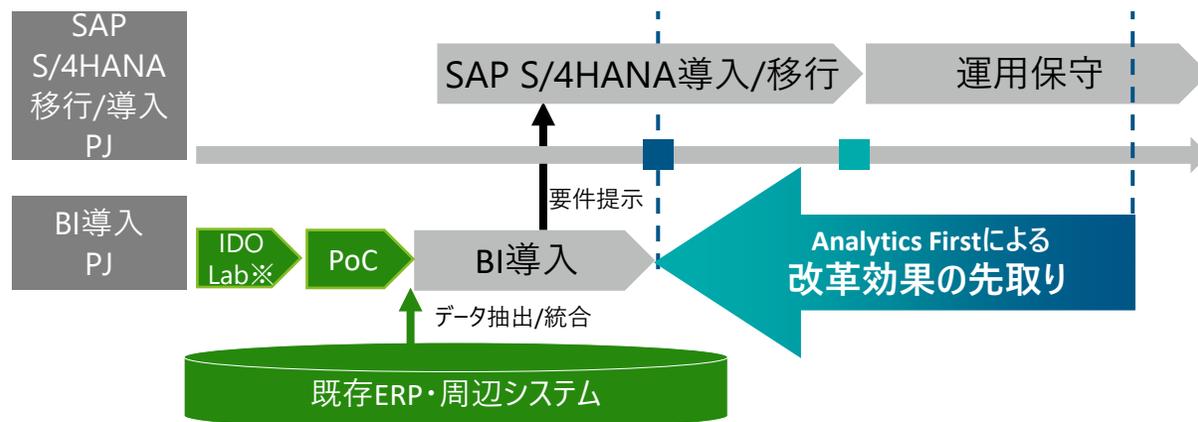
ERP Firstアプローチ

- ERP導入後に、DWHにデータを蓄積しレポートイング -



Analytics Firstアプローチ

- SAP S/4HANA導入前に既存データを活用しながらデータ利活用に向けた要件の明確化 -



※ 弊社Insight Driven Organization LabによるワークショップPGM

2 Analytics Foundation

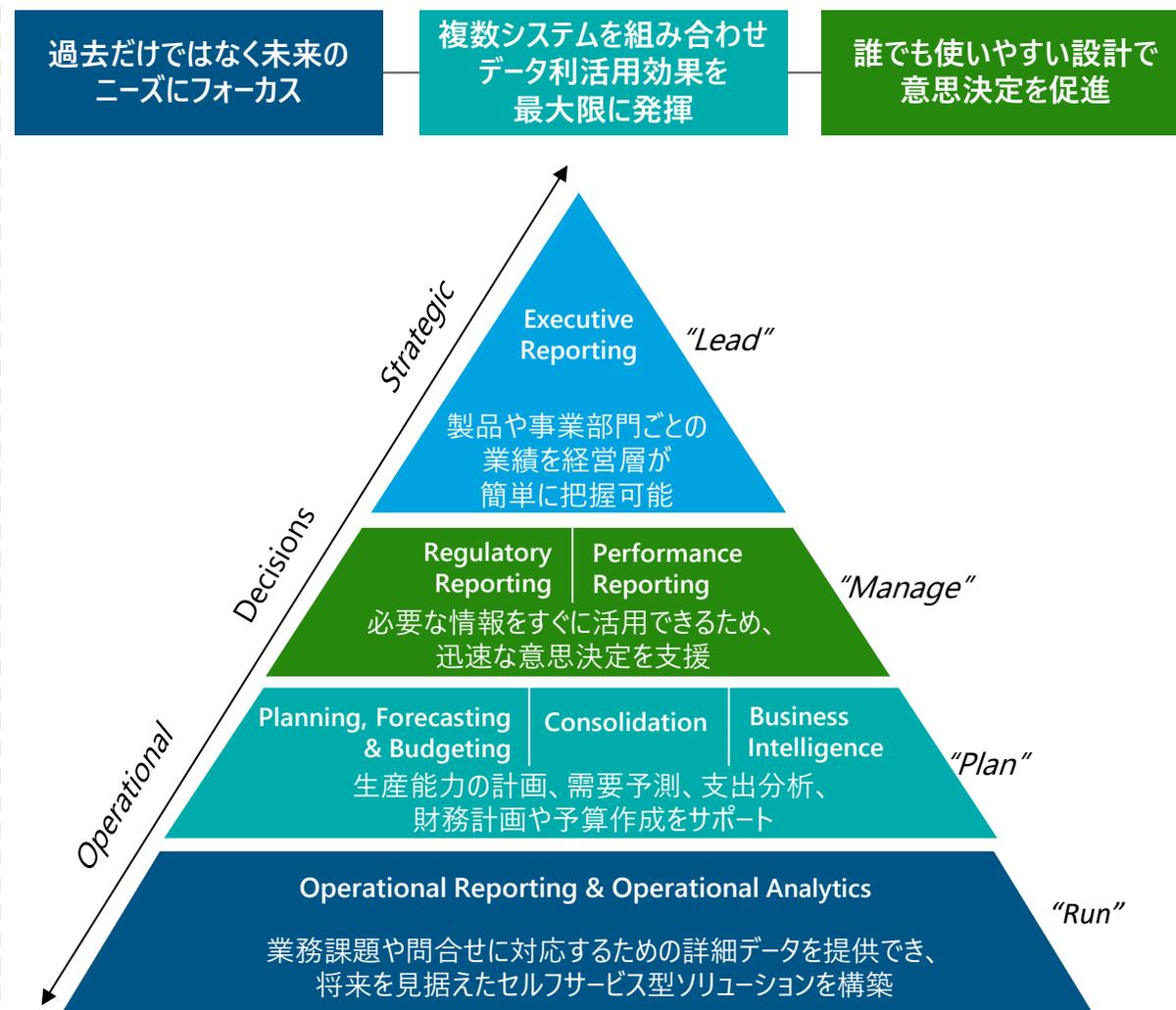
確立されたアプローチに従って、データ分析基盤の基礎を構築し、意思決定を促進していきます

Overview

- ✓ ベストプラクティスを活用したSAP S/4HANAおよびアナリティクス環境の構築 (SAP S/4HANA 以外の基幹システム、クラウド/オンプレミス環境にも対応可)
- ✓ 実業務を推進するために必要なデータの構築、モデリング、抽出
- ✓ 従業員～経営層まで誰でも使いやすいユーザーフレンドリーなダッシュボード
- ✓ ユーザー自身で分析やレポート作成ができるセルフサービス機能の充実
- ✓ SAP Datasphere、SAP Analytics Cloud、その他SAP製品と連携可能
- ✓ 非SAP製品とも連携可能

Benefits

- ✓ 既存のSAP資産を有効活用しながら、リアルタイムのレポート作成とプロアクティブな洞察を実現できる
- ✓ 全社的に統一された環境を構築し、どの拠点の従業員でも容易に扱える
- ✓ 各業界のベストプラクティスを活用できる
- ✓ インフラコストを削減すると同時に、ビジネス規模やデータ増加に応じて分析機能を容易に拡張できる



3 Analytics Evolution

組織が戦略的な意思決定を行うための高度な分析、AI主導の分析基盤を提供しデータ利活用によるイノベーションを実現します

Overview

- ✓ 最新のアナリティクス製品の最適な配置を行い、イノベーションを実現
- ✓ 高度なアナリティクス機能を導入し、戦略的な意思決定を支援
- ✓ AIや機械学習などの最新技術を統合
- ✓ 最新のデータソースやツールを取り入れ分析機能/精度を強化
- ✓ 得られたインサイトを活かし、新たなビジネスモデルやサービスを創出

Benefits

- ✓ 最新テクノロジーを導入し将来のビジネス環境に適応する準備ができる
- ✓ データの品質を確保し、意思決定を加速させるインサイトを享受できる
- ✓ 革新的なアナリティクス機能を活用し、市場での競争優位性を強化できる
- ✓ 進化するテクノロジーを使いこなすことができる人材を育成・強化できる

異なるデータソースを活用したアナリティクス

SAP製品/非SAP製品のデータを組み合わせ、より深いインサイトを得ることができ、外部データを活用することで予測の精度を高め、企業全体の業務を一目で把握できる環境を実現します

時系列データの保持

時系列データを簡単に管理できる仕組みを提供することで、階層構造の再設定や年度比較を容易にします。またデータの一元化により不要な集計やインデックス作業を排除し、増分データの抽出にも対応します

高度なアナリティクス機能の活用

データモデルを進化させながら、ストリーミングや予測分析、テキスト分析、機械学習、地理情報解析等のSAPの技術を活用し、リアルタイムで価値あるインサイトを創出します

情報のスピード

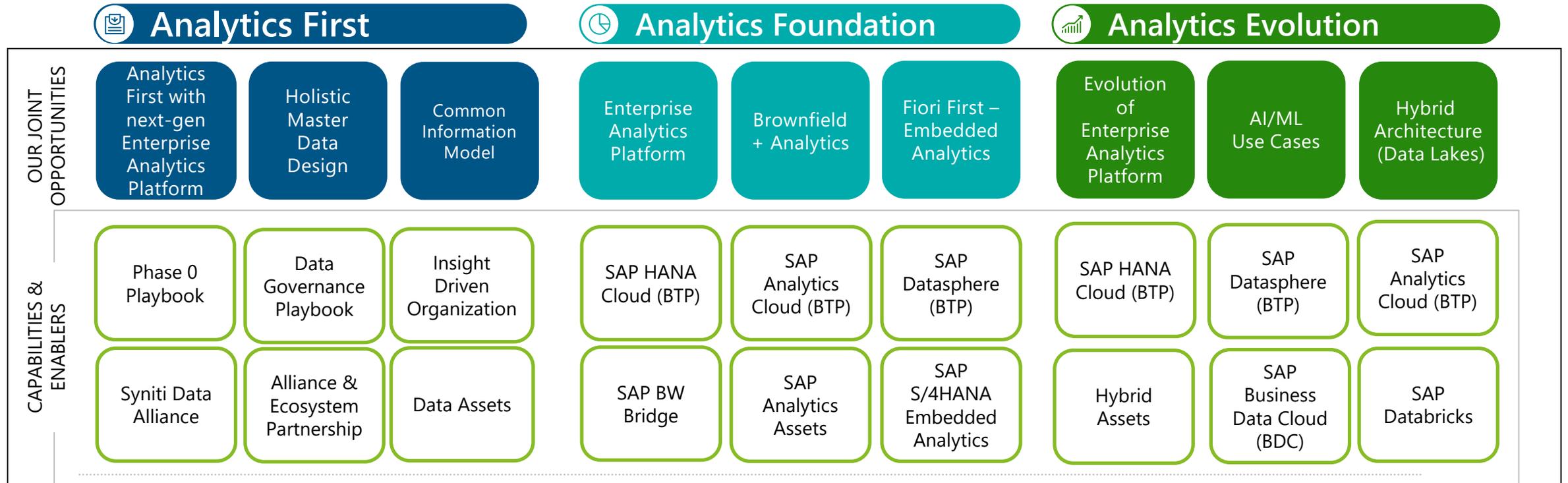
グラフィカルツールや仮想データモデルの活用により、データ構造やロジックの変更時にデータの再ロードが不要になり、この仕組みによって再トレーニングを減らし、ツールの利用効率を向上させることが可能です

多様なレポートツールとの接続

SAP HANA Cloud、SAP Datasphere、Azure、AWS、GCP等さまざまなツールに対応できるプラットフォームを採用することで、SAP製品/非SAP製品のレポートツール (TableauやPower BI等) を自由に組み合わせることが可能です

Always on Analytics Design

“Always on Analytics”は、変化する環境に対応しながら進化を続け、データの利活用効果を最大化できるアプローチです



■ プロジェクトの全領域で“Always on Analytics”は貢献します

プロジェクト初期からの関与
プロジェクト初期段階から
データ利活用を視野に入れる



フェーズ0での貢献
フェーズ0からデータ利活用の
重要な論点を抽出可能



クラウドファースト & BTP中心
「クラウドを選ばない理由はない」という考え方を採用し、
基盤にクラウドを配置



次世代ソリューション
ハイブリッドアーキテクチャと
次世代プラットフォームを活用



ソリューションの進化
最先端技術を導入し
データ利活用の高度化を実現

デロイト トーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ リスク アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ グループ 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツグループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナルサービスを提供しています。また、国内約30都市に2万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツグループWebサイト、www.deloitte.com/jp をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTLおよびDTTLの各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTLはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細はwww.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィック における100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来180年の歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約46万人の人材の活動の詳細については、www.deloitte.com をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（DTTL）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。DTTLならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲
はこちらをご覧ください
<http://www.bsigroup.com/clientDirectory>

MAKING AN
IMPACT THAT
MATTERS
since 1845